



平成 26 年

平成26年7月7日

# おきたま「つや姫だより」

直ちに中干し、分げつを抑えてください！

穂肥診断は早めに！控えめに穂肥を実施！

## 生育概況

6月30日現在		草丈(cm)	茎数(本/m <sup>2</sup> )	葉数(枚)	葉色(SPAD)
つや姫	川西町	42.7 (89%)	654 (131%)	9.1 (-0.2)	42.3 (+2.3)
	飯豊町	46.4 (97%)	696 (139%)	9.9 (+0.6)	42.4 (+2.4)
	指 標	48.0	500	9.3	40.0

草丈は指標よりやや短く、茎数は多く、葉数は並みからやや多く、葉色はやや濃い。

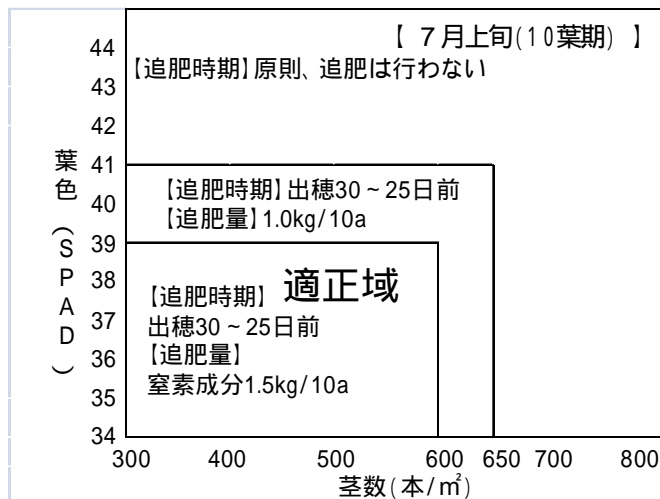
## 当面の対策

### (1) 水管理

田んぼが締まってない状態では上根も張っておらず、穂肥を施用しても期待する効果は得られません。中干しは田面に小ヒビが入る程度を基本とし、生育量が大きい場合や葉色が濃い場合は強めに行い、生育量が小さい場合や葉色がさめかかっている場合は弱めに行いましょう。

### (2) 穂肥の目安

平年より生育が2日程度進んでいます。圃場での穂肥診断は早めに行いましょう。全量出荷基準(玄米タンパク値)を達成するため、葉色・m<sup>2</sup>茎数を確認の上、診断を確実にし、マニュアルに従い適正な追肥を徹底しましょう。



予想出穂期 8/11(平年 8/13) 穂肥時期の目安 7/12~14 施肥量 N1.0~1.5kg/10a

### (3) 病害虫対策

6月30日に置賜地域の本田で葉いもちの発生が確認されています。梅雨の時期は発病に好適な気象条件となるため、圃場をよく見回り、早期発見、早期防除を徹底しましょう。

7月2日に県病害虫防除所より斑点米カメムシ類の注意報が発表されました。すくい取り調査の結果、置賜地域では発生確認地点率、虫数とも平年を上回り増加しています。

イネ科雑草が繁茂している畦畔及び農道等の草刈りを地域ぐるみで徹底し、カメムシ類の生息密度低減に努めましょう。また、水田内のノビエやイヌホタルイなどの雑草は斑点米カメムシ類の水田侵入・増殖を促します。水田内の残草処理も徹底(除草剤の使用時期を確認しましょう)しましょう。